

「野球の魅力は何が起るか分からないことです。どんなに強い相手にも勝つことがあるし、逆にどんなに弱い相手にも負けることがあります。だから試合に臨むときは精神面が大事なんです」と目を輝かせて話す岡本さん。得意のストレートとスライダーを内外角に投げ分け、チームを昨年10月に行われた秋季関東高校野球大会県大会ではみごと優勝に、今年5月に行われた春季関東高校野球大会でも準優勝に導いた。

野球を始めたのは小学校1年生のときで、父親とキヤツチボールをしたのがきっかけ。その後、すぐに地元の少年野球チームに入団し、中学校でも野球を続けた。高校入学後は、投手としての才能が開花し、2年生の夏からエースとして活躍するようになった。

冬の間は、1日数十本の100mダッシュなどの走り込みや遠投を中心体力面の強化を、現在は1日200球の投げ込みをするなど、高校生活最後の大会に向けた調整を行っている。「試合に負けたときの悔しさを思い出すことで、よりいつそう練習に打ち込むことができます」と毎日夜遅くまで厳しい練習に取り組んでいる。そんな岡本さんの目標は、もちろん甲子園出場だ。高校卒業後は、「大学に進学して野球を続け、プロ野球選手を目指したいです」と大きな夢も語ってくれた。

7月から始まる全国高等学校野球選手権大会茨城県大会では、3年間の練習の成果を存分に發揮して欲しい。

「野球の魅力は何が起るか分からないことです。どんなに強い相手にも勝つことがあるし、逆にどんなに弱い相手にも負けることがあります。だから試合に臨むときは精神面が大事なんです」と目を輝かせて話す岡本さん。得意のストレートとスライダーを内外角に投げ分け、チームを昨年10月に行われた秋季関東高校野球大会県大会ではみごと優勝に、今年5月に行われた春季関東高校野球大会でも準優勝に導いた。

野球を始めたのは小学校1年生のときで、父親とキヤツチボールをしたのがきっかけ。その後、すぐに地元の少年野球チームに入団し、中学校でも野球を続けた。高校入学後は、投手としての才能が開花し、2年生の夏からエースとして活躍するようになった。

冬の間は、1日数十本の100mダッシュなどの走り込みや遠投を中心体力面の強化を、現在は1日200球の投げ込みをするなど、高校生活最後の大会に向けた調整を行っている。「試合に負けたときの悔しさを思い出すことで、よりいつそう練習に打ち込むことができます」と毎日夜遅くまで厳しい練習に取り組んでいる。そんな岡本さんの目標は、もちろん甲子園出場だ。高校卒業後は、「大学に進学して野球を続け、プロ野球選手を目指したいです」と大きな夢も語ってくれた。

7月から始まる全国高等学校野球選手権大会茨城県大会では、3年間の練習の成果を存分に發揮して欲しい。



「目標に向かって
頑張れば夢はかなう」

岡本 力耶さん

(霞ヶ浦高校3年 真鍋六丁目)

子ども作品展



宍塙小6年
梅澤恵奈さん



宍塙小六年
梅澤恵奈



宍塙小5年
佐野奈穂さん



宍塙小五年
佐野奈穂



「クワガタと
おさんぽ」
宍塙小2年
宮崎太一さん



「すいかおいしいな」
宍塙小4年

市村紗希さん

